



看護部通信



2019年4月

新年度が慌ただしくスタートしました。平成に代わる新元号「令和」の発表もあり、新しい時代への期待が高まっています。看護部では、4名の新採用者と県立循環器・脳脊髄センターより2名の異動者を迎えました。管理者の顔ぶれも変わり、心機一転。リハセン看護職員がやりがいを持ってより良い看護を提供するためには何かを考え、新年度に取り組んでいきたいと思ひます。みなさんのご協力をお願いします。（看護管理室）

流行のダンス

5病棟 H

我が家の三姉妹は踊ることが大好きです。今はまっているのがNHK2020応援ソング「パプリカ」で、中2・小5・小3が本気で歌いノリノリで踊ります。日々ダンスは上達し、表情まで付けるようになりました。帰宅時間の遅い中2の長女も、曲が流れると踊り出します。3DSでYouTubeの荒い音を一番大きくして多い日は5回以上も踊るため、聞いている方の頭の中がパプリカでいっぱいになります。

♪パプリカ 花が咲いたら 晴れた空に種をまこう

ハレルヤ 夢を描いたなら 心あそばせあなたに届け♪

春になって、また一つ学年が上がって、いつの間にか背も大きくなって、難しい問題も解けるようになって、47都道府県も覚えちゃって……。踊っている3人はあまり変わってなくて、大人になるのは随分先ではないかと思ってしまう。何年後かの春には自分の夢を見つけ、親元を離れていくのかな。今は3人で楽しく踊っている姿を目に焼き付けておこうと思ひます。



心機一転

5病棟 A



昨年10月に5病棟へ異動となり、6年ぶりにリハビリテーション病棟で働きはじめ、4か月が経とうとしています。はたしてやっていけるのだろうか？ と以前より戸惑いや不安を多く感じました。

異動後、日々の勤務で気づかされたことがあります。5病棟は1階なので窓の外の植物が2階の病棟に比べより近く感じられます。患者さんはその景色を見ては「今日は随分雪が解けた」「ふきのとうが出ていた」と季節の変化にとっても敏感に感じ取っています。冬の寒い辛い時期から暖かい春へと移り変わる様子を自分と重ね合せているのでしょうか？

私は訓練や病棟での生活で様々な思いを抱えている患者さんに寄り添えるような関わりをしようとして、自分の気持ちを改める機会になりました。まだまだ空回りの状態で他のスタッフに迷惑をかけていますが、心機一転、日々精進していきたいと思ひます。